

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民 ニュース

活動か・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2006年

8

月号

平成18年7月25日発行
通巻92号



◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
http://www1.mienpo.net/npot
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】
●津市●みえ市民活動ボランティア
センター／津市市民活動センター／
オールウェイズ(津センターバレス
1階)／津中央郵便局ボランティア
コーナー／(有)デザインオフィス萩
野 ●桑名市●特定非営利活動法
人みえきた市民活動センター ●
四日市市●四日市市民活動セン
ター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿
市●市民活動情報ネットワークす
ずかのぶどう ●松阪市●三重中京大
学／松阪市民活動センター／松
阪まちづくりセンター『まちの駅松
阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営
利活動法人伊勢志摩NPOネット
ワークの会／伊勢市民活動セン
ター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワ
ークセンター・結 ●名張市●名張市立
図書館／名張青年会議所／皇学館
大学名張キャンパス／名張市総合
福祉センター／エコリゾート赤目の
森／名張市市民活動センター／く
らしの情報センター同夢 ●伊賀市
●ウィリアム テルス・アップル ま
ちづくりセンター／伊賀市中央公民
館／伊賀市立図書館／上野青年会
議所／伊賀市市民活動支援セン
ター ●明和町●明和町市民活動
サポートセンター ●南伊勢町●南
勢町市民活動室連絡協議会

【地域の社会福祉協議会】県内の市
町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店／三重銀
行各店／東海労働金庫各店／第三
銀行各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール
／三重県地域機関(各県民セン
ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、
松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／
三重県民サービスセンター(情報公
開窓口)／三重県総合医療セン
ター／三重県立一志病院／三重県立志
摩病院／三重県立こころの医療セン
ター／齋宮歴史博物館／三重県立
博物館／三重県立図書館／三重県
生涯学習センター／三重県男女共同
参画センター「フレンドみえ」／三重
県人権センター／三重県身体障害者
総合福祉センター／三重県環境学習
情報センター／各市町役場

協働事業提案事業「遊休人財活性化プロジェクト」について ～若年無業者の自立に向けた支援のネットワークづくりとアウトリーチ～

2004年の初め頃、就職していない、学校へ行っていない、職業訓練を受けていない若年無業者が全国で52万人存在するとマスコミで報道され、「ニート(NEET=Not in Employment, Education or Training)」という言葉が日本中に広がりました。以来、彼らに対して「働く意欲のない怠け者」といったネガティブなイメージが広がり、そうした若者が増えることが問題視されるようになりました。

しかし、ニートと呼ばれる人たちはとても多様で、就職そのものを希望していない人もいれば、就職したい気持ちを持ちつつ求職活動をしていない人、暫定的休職者から離転職を繰り返す人、何年もひきこもり状態にある人までが含まれ、とても一括りにはできません。この問題には、職業訓練的要素の乏しい学校教育のあり方や、バブル崩壊以後の長期経済不況による雇用環境の流動化などさまざまな社会的背景があり、そうした各々の実情が明らかになるにつれ、決して彼ら自身に働く意欲がないといった個人に帰すべき問題ではないことが解ってきました。

したがってこの問題は、行政だけでもNPOだけでも解決が難しく、教育・福祉・就労支援といった様々な分野、部署が連携し、行政、企業、NPOという異なったセクターの人々が参画し、現状認識と取り組む方向性を共有しながら、個別の状況に応じたきめ細かな対応を継続していくとともに、社会全体へ向けたアクションを起こしていく必要があります。

このたび私どもの提案は、三重県の協働事業提案事業の一つとして採択されることになり、若年者の就労支援に関わる人々や団体、関連機関等のネットワーク化をすすめ、問題解決に向けての協議と施策研究を行う場づくりを7月より開始しました。9月18日(月・祝)には、育て上げネットの代表・工藤啓氏をお招きして県庁講堂にてセミナーを開催する準備を進めているほか、親向けのセミナーや関連機関の情報を一括掲載したガイドマップの作成など、当事者や保護者に向けての働きかけや情報提供を行っていく予定で、一緒に活動する仲間や協力者を求めています。若年無業者の問題でお悩みの方々やそうした人々を応援したいとお考えの皆さまは、ぜひともご連絡下さい。

●問い合わせ先／Fax.020-4622-0165 E-mail akichan@terakoyapro.net

【(仮題)若者をニートと呼ばない社会 ～若年者就労支援ネットワークの構築に向けて～】

- とき／9月18日(月・祝) 13:30～16:30 ●ところ／県庁講堂 ●参加費／無料
- 募集人数／200人(会場に余裕があれば当日参加も可) ●応募締切／平成18年9月14日(木)
- 問い合わせ先：NPO寺子屋プロジェクト Tel.0594-76-8637
- 三重県生活部勤労・雇用支援室 Tel.059-224-2461
- 三重県生活部NPO室 Tel.059-222-5981

「新しい時代の公」ラウンドテーブルの発言者募集

●とき／ 9月9日(土) 13時30分～16時30分 ●ところ／県庁講堂 ●参加費／無料
●内容／県では、「新しい時代の公」パートナー会議を設置し、「公」の活動を支えるしくみや課題解決に向けた検討を進めています。現在会議では「公を担う主体の課題」というテーマについて議論しています。地域で活躍する多様な主体が、「公」の活動を続ける上で、社会から信頼や支援を得るためにはそれぞれの主体において何らかの配慮が求められるのではないかとこの視点について意見を述べていただきたいと思えます。第3回となる今回は、県民の皆さんと委員の意見交換の場としてラウンドテーブルを設定しました。意見を述べていただける方を募集します。

- 対象／県内在住、在勤、市民活動などをされている方
- 募集期間／8月22日(火)必着 ●募集人数／20人(応募者多数の場合は抽選)
- 主催・問い合わせ先／県政策部企画室新しい時代の公推進G Tel.059-224-2644
- ホームページhttp://www.pref.mie.jp/KIKAKU/HP/ooyake/index.htm

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



先月、このコーナーで紹介しましたボランティアコーディネーター養成講座の準備を着々と進めているところです。第1回目の内容は「ボランティア・ボランティアコーディネーターの概論」を予定しています。「概論」となると=(イコール)講義というイメージがありますが、それだけでは心地よい睡眠タイムになってしまいます。(特に午後!)そこで、講座の中には必ず演習を入れていきます。その演習について、先日、講師の先生と打ち合わせをしてきました。その時、先生から提案された内容は、私には目からウロコな題材でした。聞いてみると、「そっか、そりゃそうだ。」というものなのですが…。さてさて、どんな内容か…。それは、次回のお楽しみに!来月は、受講生のみなさんの様子もお伝えしたいと思います。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
(1)工房ゆう(2)中川治子(3)津市大倉10番25号
(1)穹堂香風(がくどうこうふう)(2)田浦雅徳(3)伊勢市川端町97番地2尾崎穹堂記念館内
(1)ケアらいふ(2)小崎寿賀生(3)志摩市岩渕2丁目1番13号
(平成18年6月15日~平成18年7月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- エールの会(平成18年5月1日)
NPO法人GrabQR(グラブキューアル)(平成18年6月7日)
NPO法人芭蕉俳句文学館(平成18年6月14日)
Mブリッジ(平成18年6月22日)
(平成18年6月15日~平成18年7月14日届出分)

イベントスケジュール

外国人のための専門相談会

- とき/7月30日(日)13:00~17:00
●ところ/アスト津3階アスト控え室 ●参加費/無料
●内容/三重県国際交流財団は、誰もが安心して暮らせる地域作りを目指して共生社会実現の支援や在住外国人の生活支援を行っています。生活相談は英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、タガログ語で行っています。相談分野は法律や在住資格関係で、相談内容の秘密は守ります。相談会は予約制で、各分野最大5人。相談時間は1人30分までです。

●申込方法/電話予約

- 申込・問い合わせ先/(財)三重県国際交流財団
Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007
E-mail mief@mief.or.jp

「障害者自立支援法の施行の中で」講演会・シンポジウム

「障害者の地域自立生活を考える」フォーラム

- とき/7月30日(日)12:30開場 13:00~16:30
●ところ/人権センター1階多目的ホール(津市一身田)
●内容/昨年10月「障害者自立支援法」が可決成立し、本年4月から利用者負担の制度改正など一部がスタート、本格的には事業・施設体系の見直し10月から始まります。利用者・保護者の方の不安、事業者の新体系移行への懸念、行政における施行準備等の課題など、問題・課題が多くあると言われています。今後の障害保健福祉の理念とその方向性、また実態とのギャップなど、「変わらないといけないこと」と、「変わってはいけないこと」について、関係者が一堂に会し、共に考えてみたいと思います。基調講演講師とシンポジウムのコーディネーターは東洋大学教授、北野誠一さんです。

●申込・問い合わせ先/三重県健康福祉部障害福祉室

- Tel.059-224-2273 Fax.059-228-2085
E-mail shoho@pref.mie.jp

人権ふれあい事業 人権トーク&コンサート

「夢をあきらめない~闘病・引きこもりを乗り越えて~」

- とき/8月1日(火)12:45開場
●ところ/津リージョンプラザ お城ホール
●参加費/無料(入場整理券が必要)
●内容/第1部はみんなの人権メッセージ。第2部は「ESPERANZA」トーク&コンサートです。
●申込方法/整理券は津市市民活動センターほか、津市内各所で配布。ハガキでの申込みも可です。
●主催・問い合わせ先/津市教育委員会事務局 人権教育課
Tel.059-229-3249

—誰かのために、あなたができること— 津市民ボランティアスクール



●とき/8月5日(土)13:30~16:30

- ところ/津センターバレス 3階介護実習室 ●参加費/無料
●内容/(1)ボランティア基礎講座。ボランティアとは“誰かから強制されたものでもなく、自分が求めているから行動する”個人の生き方を示しています。ボランティアとしての生き方、さらに、その生き方の奥深くに流れている意味を明らかにし、市民活動グループや非営利活動組織(NPO)の活動の意義、さらに、ボランティアとの違いも解説していきます。なお、ボランティアスクールは今回の基礎講座以外に、(2)ボランティア体験講座(入門編)、(3)ボランティア体験講座(専門編)を予定しています。

- 募集人数/50人(高校生以上) ●応募締切/7月28日(金)
●申込方法/Faxまたは電話で下記へ。受付時間は土・日・祝日を除く、8:30~17:30。
●申込・問い合わせ先/津市社会福祉協議会津支部(担当:緒次、椀田) Tel.059-213-7111
●主催/社会福祉法人津市社会福祉協議会

親子の夏休み歴史教室



—津のまちの礎を築いた藤堂高虎ってどんな人?—

- とき/8月6日(日)13:30~16:00
●ところ/津市社会福祉センター
(津市丸之内27-10 津城跡高山神社東隣)
●参加費/無料
●内容/紙芝居を見た後、歴史研究家・椋本千江さんの講演「津の殿様 藤堂高虎」を行います。その後、ときめき高虎会会員のガイドで津城跡を探索します。
●申込方法/住所・氏名・年齢・電話番号を電話またはハガキ、Faxにて下記まで。小学生は保護者と参加してください。
●主催・申込・問い合わせ先/ときめき高虎会(担当:村田) Tel.& Fax.059-232-2689

教職員のためのポルトガル語講座2006

- とき／【小中学校の先生対象】8月8日(火)
【保育園・幼稚園の先生対象】8月9日(水)
【参加自由】8月10日(木) 時間はすべて9:00~12:00
- ところ／ジェフリー鈴鹿3階
(鈴鹿市神戸2-5-18 Tel.059-381-3113)
- 参加費／2000円(ブラジルのお菓子・教材込)
- 内容／県内の外国人登録者数は4万7千人を超え、今後も外国人児童生徒の増加、滞在が長期化することで、日本で生まれ育った外国籍児童が日本で教育を受けるケースの増加が予想されます。今回はポルトガル語を学んでもらうとともに、外国から来た子どもたちへの理解を深めてもらうためポルトガル語講座を企画しました。8、9日はポルトガル語講座。10日はブラジルの文化、日系移民の歴史、日本における外国人についてお話しします。
- 募集人数／各40人
- 主催・申込・問い合わせ先／513-0806 鈴鹿市算所3-9-50 近藤ビル5階 NPO法人愛伝舎(担当:坂本久海子)
Tel.&Fax.050-3532-9911
E-mail aiden@comet.ocn.ne.jp
- 共催／UBJ(絆・ブラジル・日本)



キッズシアター

「ウォレスとグルミット 野菜畑で大ピンチ!」(吹替版)

- とき／8月19日(土)~22日(火) 10:30~12:10
- ところ／伊勢進富座
- 参加費／当日800円(大人・子ども均一料金)
ペアチケット1400円(前売のみの販売。問い合わせ先へ連絡いただければ上映当日窓口渡しも可能です)
- 内容／今年度アカデミー賞・長編アニメーション作品賞受賞作品。発明家・ウォレスと飼犬グルミットのコンビが活躍する「ウォレスとグルミット」シリーズはクレイ・アニメーションの大傑作。最新作「ウォレスとグルミット 野菜畑で大ピンチ!」では、名コンビが巨大野菜を食い荒らす「謎のウサギの怪物」に挑みます。

- 問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会
Tel.0596-23-0839(受付時間PM7:00~PM10:00)



ブラジルと出会う ~多文化共生社会づくり講座

- とき／8月23日(水) 13:30~15:00
- ところ／県伊賀庁舎7階大会議室(伊賀市四十九町2802)
- 内容／日本人も外国人も伊賀地域をつくる仲間です。みんなが心豊かに暮らせる社会をつかっていくためには、それぞれの文化の違いを認め、お互いに協力しあわなければなりません。異なる文化との出会いは、それを実現するための一歩です。NPO法人伊賀の伝丸事務局長、丹下智香子さんからブラジルでの体験談や文化の紹介を、ブラジル人から見た伊賀のお話などを聞くことでブラジルの文化をちょっと体験してみませんか?ブラジルのコーヒーとお菓子も味わっていただきます。
- 主催・問い合わせ先／伊賀県民センター総務・生活室生活課(担当:川合敦子)Tel.0595-24-8137 Fax.0595-24-8010 E-mail kawaia00@pref.mie.jp



ロマン座シネマ倶楽部第17回上映会 「天空の草原のナンサ」

- とき／8月25日(金) 19:30
26日(土) 13:00・15:00・19:30
27日(日) 10:30・13:00(各回限定30席)
- ところ／特設ミニシアター・シアターオアシス(尾鷲市栄町)
- 参加費／1000円(中学生以下半額)
- 内容／「ロマン座シネマ倶楽部」の目指す映画館は、「映画」と「まち」と「人」の結びつきなくしては考えられません。いろんな映画が楽しめる事はもちろん、いろんな文化活動に触れられ、いろんな人がさまざまに集う映画館。人と映画、人と人、人とまちをつなぐ素敵な映画館を、皆さんと一緒に築いていきたいと考えています。今回上映する作品はモンゴルの自然の中で、子犬と心を通わせる少女、ナンサの物語です。
- 主催・問い合わせ先／ロマン座シネマ倶楽部(事務局:東川庸)



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

「医」を通じての社会貢献活動~メディカルー光

全国で調剤薬局事業を展開している株式会社メディカルー光では、『医』に関するサービスを提供する企業という特性をいかし、様々な社会貢献活動

もちやを贈りました。このおもちゃは同病院のチャイルド・ライフ・スペシャリストの意見を参考に、病院側と相談して20数種類を選択。病院内にあるプレイルームで使用され、慣れない入院生活で不安を感じている子どもたちの心を慰めています。



メディカルー光 久居センター

今後は社員からボランティアを募り、三重大学医学部附属病院小児科病棟のイベントなどに参加したり、青少年関連のイベントへの参加や協賛金などという形で社会に貢献していくことも視野に入れています。

「我が社の事業は調剤薬局です。薬局に来たくて来る人は誰もいない、できることなら行きたくない場所だと思えます。だからこそ、患者様のことを経営者として常に意識していないといけないのです」と語る南野さん。その口調からは、日々の業務の中で培われた優しい視点と、株式公開を行っている企業として社会に貢献する必要性を感じていることがにじみ出ていました。

- メディカルー光
津市藤方501番地62
Tel.059-226-1193
ホームページ <http://www.m-ikkou.co.jp>

を行っています。
メディカルー光が社会貢献事業を最初に行ったのは1991年。湾岸戦争時、難民キャンプなどで医療活動を行っている医療チームに500万円相当の医薬品を送付したのが始まりです。

『医』を通じての貢献活動は1995年に起こった阪神・淡路大震災でも行いました。この時はメディカルー光の社長である南野利久さんが知り合いの医師に呼びかけ、発生から2日目に二人の医師と共に被災地に出向きました。真冬の避難所では風邪が大流行。3日間で1000人もの人を診療したそうですが、混乱を極める被災地での診療活動は最初からスムーズにいったわけではありません。行政などの機能が完全に復興していない中、医療活動は保健所に届ける必要があると聞かされた時は驚いたそうです。

今年5月には、特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会と国立大学法人三重大学医学部附属病院小児科病棟に寄附を行いました。

全国骨髄バンク推進連絡協議会には100万円を、三重大学医学部附属病院小児科病棟には40万円相当の図書カードとお



劇団飛行船の夏休みファミリーミュージカル 「まじめにまじめ かいけつゾロリ」

●とき/8月25日(金)第1回10:00開場 10:30

開演 第2回目13:30開場 14:00開演

●ところ/松阪市民文化会館

●参加費/S席3000円、A席2500円、B席2000円、C席1500円

●内容/マスクプレイミュージカルとは、着ぐるみをまわって行うミュージカルのこと。テレビでおなじみの声優たちの声に合わせて、本格的なストーリーと舞台構成で展開し、モダンバレエや、イリュージョンもとり入れた楽しい舞台です。

●チケット取扱所/喫茶レストラン花音(市民文化会館敷地内)
Tel.0598-21-8625、チケットぴあ、ローソンチケット

●問い合わせ先/劇団飛行船 Tel.052-971-5656



科学をもっと身近に感じる講演会2006 ～科学との出会い。好奇心が輝くとき～

●とき/8月26日(土)13:00受付13:30～16:00

●ところ/鈴鹿山麓研究学園都市センター(四日市市桜町3690-1 鈴鹿山麓リサーチパーク内・無料駐車場有)

●参加費/無料 ●応募締切/8月22日(火)

●内容/夏休みに、お子さんと、わくわくどきどきしながら、身近な科学を楽しく体験してみませんか?講師の杉山清志さんは元国立科学博物館教育普及官で、人呼んで“子どものたちの心に夢を宿らせるサイエンス・マジシャン”。当日は“サイエンス・マジック体験”や杉山さんが監修する科学実験テレビ番組のエピソードも飛び出します。また、全員で、簡単な科学工作をします

●募集人数/200人(要事前申込・先着順)

●申込方法/名前(グループの場合は代表者のみ)、参加人数(子ども・大人それぞれの人数)、連絡先(昼間連絡がとれる電話番号や、FAX番号、電子メールなど)を、電話、Fax、E-mail、郵送のいずれかで下記まで。*電話での申込みは、平日9:00～17:45。

●主催・申込・問い合わせ先/512-1211 四日市市桜町3690-1 三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究企画課(担当:天野、田堀) Tel.059-329-3620
Fax.059-329-8016 E-mail kagi@pref.mie.jp



フェアトレード・カフェ特別編 チャイハナ・キルギス

●とき/8月27日(日)14:00～15:00

●ところ/アスト津3階交流スペース(津駅東口)

●参加費/300円(お茶付)

●内容/東西交易路天山の小国、旧キルギスタン共和国は多彩な民族や生活形態の宝庫。この地の雄大な自然の魅力などを元青年海外協力隊員の高藤さんに語ってもらいます。

●主催/NGOセンターみえ、ESDin三重、フェアトレードコーナー抱



ネットワークのよびかけ

DV対応指導者養成セミナー受講生募集

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題に関心を持ち、被害者の支援活動や、現在行っているNPO・ボランティア活動をDV被害者支援に役立てたいと考えている方で、三重県在住または在勤・在学、基本的に全5日の講座に出席できる方を対象に、DV被害者支援に関する基礎知識を習得することを目的とした講座です。

●とき/9月16日、10月14日、11月11日、12月2日、平成19年1月20日 全て土曜日、時間は10:00～16:00

●ところ/三重県吉田山会館第206会議室(津市栄町1-891) 11月のみ三重県津庁舎大会議室(津市桜橋3-446-34)

●参加費/無料(無料託児有) ●応募締切/8月18日(金)必着

●募集人数/40人(多数の場合抽選)

●申込方法/(1)住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、託児希望の有無(2)これまでの主なボランティア活動内容を明記してハガキ、Fax、E-mailで下記まで。

●申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地

三重県健康福祉部こども家庭室「DVセミナー」担当

Tel.059-224-2883 Fax.059-224-2270

E-mail kodomok@pref.mie.jp



ホットな阿漕浦ネットワーク会員募集

「ホットな阿漕浦ネットワーク」は、津市阿漕浦海岸での活動(イベントや海岸清掃など)に、より多くの方が参加してもらえよう、また効率的に活動が行われるよう、情報の収集・発信を行っていきます。活動に協力いただける方や情報を希望する方はぜひ登録してください。会員には、四半期ごとに、阿漕浦に関する情報をまとめた「ホットな阿漕浦ネットワークだより」を送付します。また、毎月第2土曜日8:00～9:00に海岸清掃も行います。第1回は8月12日です。どなたでもご参加できますので、お時間のあ

る方は直接、交通公園(津市阿漕町阿漕浦海岸)に来てください

●申込方法/名前、所属、住所、電話番号、FAX、E-mailアドレスを下記まで。

●問い合わせ先/津建設事務所 総務・管理室 管理課

Tel.059-223-5203 Fax.059-227-8993



集まれ!ちびっこ体験塾

カマドって見たことありますか?七輪、囲炉裏、井戸は?今ではめったに体験できない日本の伝統的な食文化を、子どもたちに体験させてみませんか。体験メニューは相談に応じます。参加対象は小学生・中学生10～25人の団体・グループです。

●とき/平成18年3月まで有効 10:00～13:00

●ところ/五十鈴塾右王舎(伊勢市おほらい町通り)

●参加費/無料(材料費も無料)

●募集人数/先着15組 ●申込方法/予約制

●問い合わせ先/NPO法人五十鈴塾事務局(担当:井手口)

Tel.0596-20-8251 Fax.0596-20-8253

E-mail info@isuzujyuku.org

ホームページ <http://www.isuzujyuku.org>

水辺のごみ実態調査(クリーンアップキャンペーン)

水辺のごみ実態調査(クリーンアップキャンペーン)とは、各場所ごとに7名程度がグループを組み、5m四方の区域のごみを集め、何が捨てられているかを調査し、それを主催者である「クリーンアップ全国事務局」に報告することにより、ごみ問題や海洋環境保護を考えていこうという国際的な取組です。きれいな伊勢志摩づくり連絡会議では、この趣旨に賛同し、漁業協同組合の皆さんなど多くのボランティアの方々のご協力を得て、昨年は伊勢志摩地域の海岸など27ヶ所で調査を実施しました。

●とき/9月2日(土)約2時間(天候により中止有)

●ところ/昨年とほぼ同様の海岸など

●応募締切/7月31日(火)

●申込方法/電話、Fax、E-mailにて下記まで。

●問い合わせ先/伊勢農林水産商工環境事務所環境室環境課(担当:伊東、天野、地主) Tel.0596-27-5405

Fax.0596-27-5327 E-mail itout07@pref.mie.jp

ホームページ <http://www12.plala.or.jp/tomooito/>

助成金 ニュース

ささえあいくらぶモデル事業

- 受付期間/7月25日(火)~8月31日(木)
- 助成の目的/三重県では多様化、複雑化する子どもたちや子育て家庭の課題に対応するため、「三重県次世代育成支援行動計画」において、県民のみなさん一人ひとりの知恵や力、経験を活かし、子どもたちや子育て家庭を支援していく「ささえあい」の地域社会づくりを提唱しています。そこで、多様な主体がそれぞれの特性を活かし、自ら考え、自らの意思により企画・協働・連携して進める事業提案を募集します。
- 助成の対象となる団体/(1)県内を主たる活動地域として子育て支援活動を実施している団体、NPO等
(2)県内の企業、商店、商店街等
- 助成の対象となる活動/以下の(1)~(4)の要件のすべてを満たす事業。
(1)次世代育成をささえあ地域社会づくりを進める事業(三重県次世代育成支援行動計画で提案している事業のほか、地域の実情に応じた斬新な取り組み)
(2)市町または県と協働して行なう事業
(3)来年度以降県内の他の市町への波及効果が期待できる事業
(4)他の団体等から助成金等の資金援助を受けない事業
- 助成の額/1件あたり30万円以内。ただし、再委託は禁止。
- 応募方法/郵送、持参またはE-mailにて提出。
- 問い合わせ先/三重県健康福祉部子ども家庭室 次世代育成支援推進担当 514-8570(住所不要) E-mail kodomok@pref.mie.jp

(財)庭野平和財団 活動助成(後期分)

- 受付締切/8月13日(日)必着
- 助成の対象となる団体・個人/個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体に付き一件の申請に限ります)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、継続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動/1.宗教的精神に基づく社会・平和活動。
2.地域のエンパワーメントを創生する活動。
- 助成の額/1件あたり上限100万円。
- 応募方法/申請書類はホームページからダウンロードするか、下記まで電話、Fax、E-mailにて請求。応募は郵送のみ受付。
- 問い合わせ先/(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9ジャンプヴィラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4371 Fax.03-3226-1835 E-mail grant@nfp.or.jp
ホームページ <http://www.nfp.or.jp/>

日本財団アジア・フェロシップ(APIフェロシップ)

- 受付締切/8月31日(木)
- 活動テーマ/1.アイデンティティの変容とその社会的・歴史的・文化的背景
2.人類が直面する社会的課題と社会正義の考察
3.グローバル化の現状とその課題
- 助成の対象/[APIシニア・フェロシップ]
応募締切日に40歳以上であること。出身国・居住国以外の国で、研究・交流活動に従事できる能力と経験を有すること。提案した研究・交流活動を、出身国・居住国以外のAPI参加国で行うこと。提案した研究・交流活動を、1~12ヶ月の間、継続して行うこと。但し、活動国が複数ある場合は、1ヶ国に最低1ヶ月以上継続して滞在しなければならない。APIフェロシップの研究・交流活動の成果を広く社会に還元する能力・影響力・手段を有すること。
- 【APIフェロシップ】
応募締切日に40歳未満であること(例外を認めることがあります)。
出身国・居住国以外のAPI参加国で、提案した研究・交流活動に取り組む能力と意欲を備えていること。将来、その専門分野において大きな貢献のできる可能性を有すること。提案した研究・交流活動を、4~12ヶ月の間、継続して行うこと。但し、活動国が複数ある場合は、1ヶ国に最低1ヶ月以上継続して滞在しなければならない。提案した研究・交流活動は、出身国・居住国以外のAPI参加国のうち1カ国または2カ国で行うこと。
- 応募方法/募集は5カ国で行われています。申請書などはホームページからダウンロードして使用し、必要書類と合わせて郵送するか、オンラインで応募。

募。応募方法の詳細はホームページを参照してください。

●問い合わせ先/京都大学東南アジア研究所 APIフェロシップ事務局
606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel.075-753-7348・7391 Fax.075-753-7350 E-mail api@cseas.kyoto-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api/>

(財)伊藤忠記念財団 子ども文庫助成事業

- 【子どもの本100冊助成】
- 受付締切/8月31日(木)消印有効
- 助成の対象となる団体/子ども文庫(家庭、地域文庫)をはじめ、その連合体(子ども文庫連絡会)など、児童の読書についての啓発・指導を行っている民間団体、または個人の活動。活動歴は問いません。
- 助成の内容/1件あたり20万円相当の図書を助成。セット内容についてはホームページに記載されたリストを参照。なお、セット代金が20万円に満たない場合は、差額相当分の図書を別途購入可。a・小学校低学年向け25件/b・小学校中学年向け15件/c・小学校高学年以上向け5件
- 応募方法/(社)読書推進運動協議会へ申請書を郵送。申請書の入手は(財)伊藤忠記念財団のホームページからダウンロードするか、下記に問い合わせ。
- 申請書提出先/(社)読書推進運動協議会 162-0828 東京都新宿区袋町6番地 日本出版クラブ会館内 Tel.03-3260-3071 Fax.03-5229-1560
- 問い合わせ先/(財)伊藤忠記念財団 助成事業部 Tel.03-3974-2650 Fax.03-3974-2049(火~土曜 9:00~17:00)
E-mail info@itc-zaidan.or.jp
ホームページ <http://www.itc-zaidan.or.jp>

【研修助成】

- 助成の内容/『(財)東京子ども図書館(以下TCLと表記)』
(1)TCLが東京で開催する研修会、講習会で、助成を希望する数名(対象者はTCLが決定)に対し、その参加者旅費(旅費、滞在費)の一部を助成。
(2)東京より遠隔地(開催場所は当財団とTCLが協議し決定)で行う研修会・講習会にTCLが派遣する講師の派遣費用(旅費・滞在費)及び講師に対する謝礼や会場費等の開催費の一部を助成。
『児童図書館研究会(以下児図研と表記)』
児図研が開催する全国学習会の参加者の中で助成を希望する数名(対象者は児図研が決定)に対し、その参加費用(旅費、滞在費)の一部を助成。
- 助成の内容/TCLの事業総額200万円。児図研事業総額100万円。
- 応募方法/各団体へ直接問い合わせ。
- 問い合わせ先/(財)東京子ども図書館 165-0023 東京都中野区江原町1-19-10 Tel.03-3565-7711 Fax.03-3565-7712
児童図書館研究会 105-0004 東京都港区5-9-4関ビル
Tel.&Fax.03-3431-3478

(財)大和証券福祉財団助成

- 受付期間/8月1日(火)~9月15日(金)消印有効
- 【ボランティア活動】
- 助成の対象となる団体/ボランティア活動を目的とした団体・グループ。社会福祉協議会・共同募金会などの推薦が必要。
- 助成の対象となる活動/特に在宅老人、障害児・者、児童問題などに対するボランティア。
- 対象事業の期間/原則として平成19年1月~12月の活動
- 助成の額/1件あたり上限30万円。総額5000万円(内500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)
- 【ボランティア活動等に関する調査研究助成】
- 助成の対象となる団体/研究委員会を組織すること。
- 助成の対象となる研究/ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究など。
- 助成の額/上限100万円。3件まで
- 応募方法/用紙の申請は電話、Faxまたはホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先/(財)大和証券福祉財団 103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9 大和証券兜町ビル
Tel.03-3665-5147 Fax.03-3662-0495
ホームページ <http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

市民活動（支援）センター情報交換会

主 宰：三重県NPO室 TEL：059-222-5981 FAX：059-222-5971 e-mail：seiknpo@pref.mie.jp

指定管理者制度が導入され、三重県内の市民活動（支援）センターも、設置の後先はありますが、それぞれ特色を活かしたさまざまな取り組みを展開しています。

市民活動（支援）センター情報交換会は、まずは三重県内の公設の市民活動（支援）センター同士で、互いに情報を共有しようと NPO 室の呼びかけにより、今年度、4 回開催されることになりました。

7 月 3 日に開かれた第 1 回の参加者は 36 名。8 つの公設の市民活動（支援）センターの担当者の方と設置している市町担当課さん、また、今後センターを設置する予定であったり、場所の提供ではなく、他の支援方法を検討されている 5 つの市町担当課の方が一堂に会しました。

参加団体の取り組みやビジョンをご紹介いただき、センター運営上の課題について意見を交換しました。

次回は 8 月末～9 月初旬に予定しています。



中間支援組織担当者ネットワーク交流会

主 宰：W.T.A まちづくりセンター 連絡先：0595-24-7610／090-3302-0627 e-mail：nagi_47_4_3@yahoo.co.jp

2 ヶ月に 1 度開催される中間支援組織担当者ネットワーク交流会は、市民活動の支援に関わる民間団体、行政が集う場です。

7 月は 13 団体 17 名の参加がありました。

議題は、総合計画や地域戦略といったものから、市民活動センターの管理業務、イベントの広報まで多岐に渡ります。

特に今回は、“みえの舞台づくり百人委員会”の第 1 回地域会議が県内各地で開催されていることもあって、伊勢会場のワークショップの要素を取り入れた開催方法に質疑が集まりました。

事前申し込みがなくても参加でき、ホワイトボードに各自議題を記入すれば、気になっているテーマについて意見交換できるので、市民活動や NPO の支援について関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。



《次回のお知らせ》隔月開催

- 交流会
8 月 7 日（月）午後 1 時 30 分～4 時 30 分
 - 協働勉強会
9 月 12 日（火）午後 1 時 30 分～4 時 30 分
- *場所は共に、みえ市民活動ボランティアセンター

“みえの舞台づくり百人委員会”とは？

“みえの舞台づくり百人委員会”は、県の総合計画「県民しあわせプラン」について、地域社会で自ら率先して活動している県民の方の提案を取り入れていくために三重県が設置した委員会です。

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。七粟サナトリウムで10年間病院ボランティアをしている上野恵美子さんが紹介してくれたのは浜口素則さん。ソロで、またバンドで様々な施設や病院を回って音楽ボランティアをしています。

趣味の音楽がボランティアにつながる

……音楽を通してボランティアを行っているそうですが、どんなジャンルの音楽ですか？

二つのバンドに参加しているのですが、HAMAGUCHI-BANDはフォークソング。もう一つのロンサムラムブラスはブルーグラス・カントリーのバンド。ボランティア活動はHAMAGUCHI-BANDが中心。

……HAMAGUCHI-BANDを結成したのは？

私は学生時代からフォークソングが好きで、ずっとギターを弾いていたのですが、結婚や子育てなどで一時期、演奏活動を休止。それをもう一度、やってみようと思ったのは高石ともやさんのコンサートを見たのがきっかけです。昔のメンバーに声をかけてバンドを結成したのは平成2年。途中、メンバーの入れ替わりはありましたが、16年間続けてきて、現在は6人のメンバーで活動しています。レパトリーはピーター・ポール&マリーやブラザーズフォ、赤い鳥など、私たちが学生時代に親しんだ音楽です。

……ボランティアを始めたきっかけは？

最初は地域のイベントに、自分たちから応募して参加しました。そのステージを見た高齢者やハンディキャップを持った方たちの施設から声がかかり、訪問コンサートを行うようになりました。一度、施設などでコンサートを行うと、施設同士のネットワークで次々に広がっていきました。「うちでもやってもらえませんか」と話をしてくれることもありますし、直接、他の施設を紹介してくれることもあります。また、音楽活動をしている仲間から紹介してもらうこともあります。「うちは都合が悪いから、浜口さんとこはどう？」とか。全ては人のつながり。それで、ボランティア活動の場も広がっていきますね。最近では小学校での人権コンサートを依頼されました。

……前回、登場された上野さんと知り合ったのも人づてに病院でのボランティアを紹介されたからですか？

七粟サナトリウムの場合は、入院していた友人を見舞ったことがきっかけでした。友人が「ここでも音楽をやってみたら」と言ってくれて、申し入れたところ、「ぜひ、やってください」ということで。それから10年ぐらい続いています。昨年からは三重聖十字病院も訪問しています。



HAMAGUCHI-BAND代表

浜口素則 さんに

……場所によって曲目は変えているのですか？

コンサートのテーマや、参加者の男女比、年齢、病気やハンディの

状態などによって曲・プログラムを構成。事前に主催者から、十分聞いておきます。会場を構成する人々をイメージしながら曲目を考えるのです。リクエストを聞く場合は、名前が出た曲は必ず演奏するようにしています。あらかじめ用意をせずに行くと、会場に入ってから、みなさんの顔を見て「しまった!」と思ったこともありますよ(笑)。そんな時でも同年代の人が多ければ、なんとかなるのですが、観客と年齢差のある時、とくに若年の人が多いと困ります。

……どんな曲目がありますか？

「花はどこへ行った」や「悲惨な戦争」などのアメリカンフォークと、「翼を下さい」「この広い野原いっぱい」「白いブランコ」など、日本のフォークソングですが、小学校のコンサートでは子どもたちがよく知っているSMAPの「世界にひとつだけの花」や「Believe」「千と千尋の神かくし」などアニメの曲も歌います。高齢者の施設や病院の場合は、高齢者の方が若い時に歌っていた、昭和初期の歌謡曲を演奏することが多いです。

……新しい曲もレパトリーなのですか？

リクエストもありますし、人から薦められて練習することもあります。コブクロの「ここにしか咲かない花」を主催者から依頼された時は難しくて大変でしたね(笑)。リクエストされても、私たちには早すぎて歌えない曲もありますが、今風の曲でもスローなものや、私たちが歌っても違和感が無い曲はどんどん取り入れるようにしています。

……テーマによる選曲もあるのですか？

人権コンサートの時は「竹田の子守歌」や「千の風になって」。差別と命の大切さについて考えるようにしました。

……子どもたちの様子はどうですか？

子どもたちはハッキリしていますね。自分たちが知っている曲だと凄く盛り上がります。逆に知らない曲だと、となりどうしでつつきあいや雑談が始まったり(笑)。人権コンサートは去年から始めたばかりですから、毎回反省をしながら、先生方にも意見を伺ったりしながらやっています。ただ、私たちが一生懸命に演奏している姿は子どもたちの目にもきちんと映っているようです。

……高齢者を相手にした時に、音楽療法的なことも行いますか？

七粟サナトリウムで私たちが最初に演奏をさせていただいたのが音楽療法の時間でした。当時の看護師長さんに「私たちは音楽療法のことは何もわかりませんが…」とたずねたところ、「気にせず、普段通りにやってください」と言っていました。患者さんには、少しでも今の時間を大切に、気持ちよく過ごしていただきたい。小さい時からなじんできた音楽を聴いたり、歌って、気持ちを若々しく持っていていただくことだと思います。音楽療法では回想法と言います。

……患者さんの反応はどうですか？

患者さんの目や表情を見て、感じます。上手くいった時には、雰囲気などがなごやかにふわりするものです。

……お客さんと一緒に歌ったりもするのですか？

基本的に一緒に歌っていただきます。私たちはプロではありませんから、聴かせるというよりも、一緒に歌って楽しんでいただくことを心がけています。時には歌に簡単なフリをつけたり、健康体操的なこともしますよ。

……観客をのせていくのですか？

声を出して、好きな曲を歌うだけでも気分はのってきます。その次は

聞く

一番簡単に音を出せる方法である手拍子。これでリズム感が出てきます。フリをつければ身体も動き…。日本レクリエーション協会公認のインストラクターでもありますので、レクリエーション的な要素を入れながらステージを進行しています。レクリエーションの世界ではゲーム、ダンス、ソングは三種の神器と言われています。これを上手く利用して、その場を演出するのは基本的な技術です。原始の時代から祭り事があれば、人が集まって、お酒などを飲んで、そのうちに歌が出て、踊り出す。陶酔の世界に浸って、神々の世界に近づいていくともいうのかな。音楽やダンスには人間が本来持っている感覚を呼び起こす面があると思います。

私たちの思いと、参加者の思いが合致した時には 熱い、感動的なものを感じますね。

……演奏とは別に、お客さんとふれあう醍醐味もあるのですね。活動をしていると、時折ゾーンと来る時があります。演奏後にアンコールがかかって、余韻が残る。音楽を通じて気持ちが通じ合ったというか。私たちの思いと、参加者の思いが合致した時には熱い、感動的なものを感じますね。終わった後に握手したり、涙目で「また来てね」と言われると、今日のコンサートは良かったなと思います。逆に、あくびや居眠りをされる方がいた時は「今日の選曲間違ったかなあ」って(笑)。そんな時にはスッと引き下がるくらいの気持ちが必要です。最近は音楽ボランティアの数も多くなってきましたが、中にはボランティアの場を自分たちの発表の場と勘違いしているようなグループもあるようです。職員の方が「もう時間です」と止めてもやり続けたり、参加者のことを考えていない選曲だったり。そんなグループは二度と声がかからないですよ。音楽ボランティアは何のために行くのか。そこをきちんと考えていかなければいけません。

仲間が仲良く活動するための事務作業

……演奏依頼も多いのでは？
春は桜まつり、花見、夏は納涼祭。秋は文化祭。冬はクリスマスなど。施設ではいろいろな行事があります。依頼されたら、できるだけ引き受けるようにしています。
……メンバーの都合が合わないこともあるのでは？
メンバーが参加できない時は、ギター1本だけで演奏することもあります。もちろん、キーボードやベースなどが加わった時とは音の厚みが違いますが…。私たちはアマチュアですし、基本的に強制、押しつけはしません。家の事情や仕事で出られない時は仕方ありませんから。だからといって、一旦、引き受けたことをおろそかにしているわけではありません。ドタキャンなど無責任なことは絶対にしません。工夫しながら小さなこともきちっとやります。平日には、会社のボランティア休暇制度があるのでありがたいです。
……スケジュール管理などは担当者がいるのですか？
マネージャー的な仕事は私がしています。資料づくりなどあまり忙しめに思いません。緊急を要する時にはメンバーの自宅まで資料を置



HAMAGUCHI-BAND



コンサートでは簡単なフリをつけることもあります

きに行くこともあります。面倒そうに思えますが、マネージャーの仕事で一番大事なのは連絡。特にボランティア活動は、気持ちで行うものですから、連絡がうまくいかず「私だけ外されたのかな」なんていう気持ちにさせてはいけません。自分が楽器を練習する時間が減って、歯がゆい思いをする時もありますが、みんながチームワーク良くやっていける方に力を入れるのが大事ですね。

……浜口さんの担当楽器は？

人に聴かせられるのはギターとバンジョー。ベースも弾きます。実はアコーディオンやオカリナなど、弾けない楽器もたくさん持っています(笑)。見て、「欲しいな」と思うとつい、衝動買いしてしまっ。これらは定年退職後に自由な時間ができたら、練習しようと思っています。

……時間のやり繰りが大変ですね。

時間は皆さんと同じです。だから、できるだけ有効に、無駄な時間を過ごさないようにしています。通勤電車の中でも手帳を見て、予定を組んだり、ステージの構想を練ったりします。人に会ったらすぐに渡せるよう、鞆の中には資料やイベントのチラシなどを入れています。

……休日は演奏活動でつぶれるのでは？

土日のうち、どちらか1日の午前中は家の片づけや掃除、草引きなど、家の仕事をしています。そこはきちっと。

……浜口さんは退職後も退屈などしないでしょうね。

おかげさまで、退屈する心配はないですね(笑)。バンド、合唱、山歩きを楽しんでいます。「何かやりたいなあ」と思えば、すぐに仲間の声がかけられます。普段から多くの人とのネットワーク・コミュニケーションを維持していくことが大事ですね。

……音楽だけでなく、様々な分野で活動しているのですか。
私は「ボランティアに生き甲斐を感じています！」という人間ではなくて、ボランティア活動は私の生活の一部なのです。

HAMAGUCHI-BAND

Tel.090-8676-9270

E-mail hama26@wonder.ocn.ne.jp

ロンサム夏のライブ

- とき/8月26日(土) 18:30~20:30
 - ところ/神代餅茶屋ギャラリー(伊勢市宇治今在家町65)
 - 参加費/500円(一品付)
- 問い合わせは上記と同じ。

浜口素則さんはこの人を紹介します。

鈴木愛子さん

聖十字病院でボランティアをしている鈴木さん。詩や絵、陶芸などを患者さんと共に楽しんだり、気持ちを表現したりしています。

おねがい

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

- (1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。
 - (2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
- 転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。